

町内全地域 (池田町)

【地域の概要】

- 管内の耕地面積は、1,030ha (田 912ha、畑 118ha)
- 平場を中心に、条件の良い田畑については、担い手への集積が進んでいる。
- 中山間部では、特産品である「揖斐茶」の栽培が盛んに行われているが、高齢化による担い手不足が著しく、お茶畑の遊休化が進んでいる。

取組開始前の状況や課題

- 平場については、(有)サポートいび等の担い手への集積が進んでいる。しかし、圃場条件が良好ではない地域については、担い手が育ちにくく、貸し付けの相手方がいない状態である。
- 山際に広がるお茶畑の遊休化が課題として上がっているが、担い手となる者が不足しており、今後も遊休化が進んでいく恐れがある。

取組内容

- 町として、今後どのように集積を進めていくかを検討するため、H31.1月の総会において、農地利用最適化の推進に関する取り組みについて協議。既に他市町村で行われている、アンケート調査の実施や、農地の状況を地図に落とし込む作業等、取り組みについての情報共有を図った。
- 2月に行われた研修会にて、1月に行われた研修会の内容をもとに、活動方針を協議。
アンケート調査の実施を行う前に、農業委員・推進委員が、地元の農地の現状(経営規模や後継者の有無など)を把握するため、図面を元に、色塗り等を行い、委員同士で共有することを決定。

今後の展開と方向性

- 3月総会後に、図面の記載方法等を協議し、図面を用意した上で、4月から各地区において、営農状況や耕作放棄地の調査等を実施する。
- 毎月の農業委員会総会后、各地区ごと又は、全体で現状の問題点や、今後問題になりそうな農地について協議を行っていく。